



[ものづくり・商い・もてなし]  
呉服問屋（金襴絹織物問屋）

歴 087（H29）

享保5年（1720）創業の呉服商「誉田屋」で働いていた初代勘兵衛が、のれん分けを許され、宝暦元年（1751）に開いた誉勘商店は、呉服問屋が多く立ち並ぶ室町通の中でも、誉田屋本家や三井越後屋京本店など呉服問屋の大店が集積する冷泉町の室町通夷川下の西側にあります。

当時の主屋は、蛤御門の変（1864）で焼失後、明治9年に再建され、南側には住宅が建っています。

通りに面して表屋が建ち、ゲンカンを挟んで主屋が建つ典型的な表屋造で、1階は2本切子の糸屋格子の出格子、平格子、鎧張り、2階の外壁は聚楽仕上げで虫籠窓が付く設えとなっています。南側からミセドマ、ミセ、その奥の中庭を介してタナノマとゲンカンへ入ります。

蔵には冷泉町の町史料が大量に収蔵されており、これらは近世都市史研究の貴重な資料となっています。

現在は、13代目が金襴絹織物の卸商を営んでおり、初代から変わらぬ正絹にこだわり抜いた品々、特に金糸を用いて金模様を織り出す金襴の技術と伝統は類稀です。



蔵



タナノマ



〒604-0011 京都市中京区室町通二条上る冷泉町53

電話番号 075-241-0168

F A X 075-252-3595

アクセス 地下鉄烏丸線「丸太町」徒歩3分

ホームページ <https://kondaya.jp/>